２０２１年５月１１日

各　位

会 社 名　株 式 会 社　高　知　銀　行
代表者名　取締役頭取　森　下　勝　彦
（コード番号 8416　東証第一部）
問合せ先　経営統括部長　寺川　智文
（TEL. 088-822-9311）

中期経営計画の概要について

当行は、今後 3 年間（2021 年度～2023 年度）を計画期間とする新たな中期経営計画の概要について、下記のとおりお知らせいたします。

なお、計画の数値目標および詳細につきましては、経営強化計画と合わせて別途お知らせいたします。

記

こうぎん新創造　第Ⅱ期：進化

～社会環境の急激な変化を踏まえたビジネスモデルと財務力の向上～

「地域の皆さまを起点とした協働」により地域の発展に貢献することを目指し、デジタル技術等を活用した抜本的な業務効率化と、グループの連携体制を強化し事業領域の拡大を図ります。

地域金融機関を取り巻く環境は、国内の低金利環境が長期化していることに加え、デジタル技術の急速な進展によって業種や業態を超えた競争がますます激化しております。また、地域経済は、少子高齢化や社会的な流出による生産年齢人口の減少が進行しているほか、新型コロナウイルス感染症の拡大によって社会・経済活動や人々の価値観が抜本的かつ不可逆的に変化しております。

こうしたなか当行は、マテリアリティ（地域と当行それぞれの重要課題）を踏まえて、中期経営計画における目指す姿と基本方針を以下のとおり設定いたしました。

目指す姿「地域の価値向上に貢献する金融インフラ」
基本方針「地域密着型金融の深化」
「高付加価値サービスの提供」
「生産性の向上」

基本戦略等につきましては「別紙」のとおり、前計画「変革」で構築した経営基盤を土台とし、地域の皆さまのサポートをより「進化」させ、さまざまなステークホルダーと協働することによってサステナブル社会の実現に貢献してまいります。

以　上

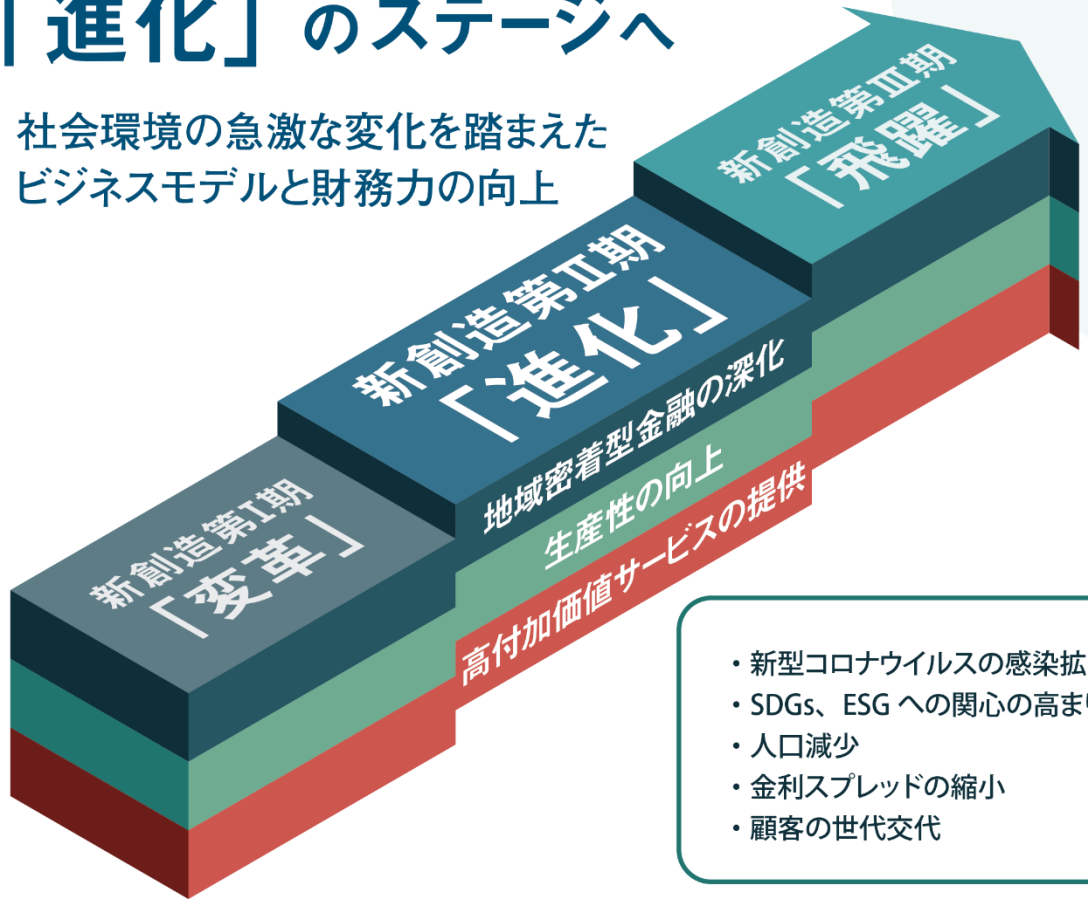
中期経営計画「こうぎん新創造 第II期：進化」2021-2023年度

2021 - 2023 年度

中期経営計画は

「進化」のステージへ

社会環境の急激な変化を踏まえた
ビジネスモデルと財務力の向上



目指す姿

地域の価値向上に貢献する金融インフラ

- 地域密着型金融を深化させ、付加価値の高い金融サービスを提供することで、お客さまの価値向上をサポートする。
- 地域全体の価値向上を提案し、その活動を支援する金融インフラとなる。

外部環境

- 新型コロナウイルスの感染拡大
- SDGs、ESG への関心の高まり
- 人口減少
- 金利スプレッドの縮小
- 顧客の世代交代
- デジタルネイティブ世代の成熟
- 営業手法やツールの多様化
- 地域金融機関を取り巻く経営環境の変化
- 地方創生への取り組みの活発化
- 南海トラフ巨大地震の発生リスクの高まり

「こうぎん新創造 第II期：進化」の３つの基本方針と５つの基本戦略

目指す姿「地域の価値向上に貢献する金融インフラ」の実現に向け、基本方針に基づく従来からの施策を「進化」させ、新たに策定した「営業戦略」と、その効果を最大限に引き出していくための「経営基盤戦略」に取り組んでまいります。

営業戦略

本業サポートの強化

暮らしサポートの強化

人財力の最大発揮

経営基盤の強化

デジタル化等を活用した
業務の改革
および組織最適化

経営基盤戦略

営業戦略

本業サポートの強化

事業お取引先が経営環境や社会の価値観などの急速な変化へ対応し、持続的な成長を実現できるよう、ともに経営課題の深堀に取り組み、その解決に向けた方策の提案と活動をサポートしてまいります。

- ポストコロナ対応のソリューションや経営改善支援
- 地域の商流をつくる面的な地域活性化支援
- 現場力強化に向け専門性が高い本部担当者を営業エリア単位で配置
- ヒートマップの活用など本部のデータ分析力と活動状況モニタリングの向上
- Ｋｏｃｈｉ Ｂｉｇ Ａｄｖａｎｃｅ等の活用による伴走型サポート強化

暮らしサポートの強化

“face to face”とWebなどマルチチャネルを強化し、金融リテラシーにまつわる情報提供や将来のライフイベントへの備えを提案する活動を通じて、地域の皆さまとリレーションを深めるとともに、未来を築くための様々なサポートを展開してまいります。

- 幅広い年代のさまざまなニーズを的確にとらえるマーケティングとライフスタイルに応じたプロモーション
- マネーアドバイザーの適正配置等による“ｆａｃｅ ｔｏ ｆａｃｅ”営業体制のさらなる向上
- 幅広い年代層への金融リテラシーを通じた人生設計サポート
- フィナンシャル・プランニング拠点機能の強化
- Ｗｅｂチャネルの利便性向上などサービスチャネルの拡充

経営基盤戦略

デジタル化等を活用した業務の改革および組織最適化

BPRの継続に加えてデジタル化や本部集中型などの抜本的な効率化を推し進め、経営資源を再配分するとともに、内外連携を強化して営業活動の質と量を一層向上させてまいります。

- ＢＰＲの継続実施やＲＰＡ活用等による事務省力化と営業力強化に向けたリソースの最適配置
- 地域ごとのニーズに応じたプラットフォーム型店舗網への進化と顧客利便性向上に向けた新技術の活用

人財力の最大発揮

お客さま最善の利益に貢献する高質なコンサルティングを行うために、職員それぞれがスキルアップに取り組み持てる力を発揮できるよう、効果的な育成プログラムを実施するとともに、働き方改革を推進してワークライフバランスの向上に努めてまいります。

- 地域貢献活動に有効な資格取得の促進ならびに少人数オペレーションに対応するマルチスキル人財の育成
- 多様な人財の活用と働き方改革への対応に向けた女性活躍施策やワークライフバランスなどの推進

経営基盤の強化

グループ全体のコンプライアンス運営を向上させ、「こうぎんグループ」の総合力を発揮し、地域との共通価値創造を通じてSDGsの達成に貢献するとともに、リスク管理の高度化などによって財務基盤の強化を図ります。

- グループ間連携・ガバナンス強化による総合力の発揮と事業開発委員会等による新領域サービスの開拓
- 資本効率向上に向けたリスク・リターン管理体制の高度化